

2026年4月28日
三菱電機株式会社

NEWS RELEASE

空対空ミサイル AIM-120 (AMRAAM) の日米共同生産への参画について

三菱電機株式会社は、4月14日に開催された第4回日米防衛産業協力・取得・維持整備定期協議 (DICAS^{※1} 2.0) にて、日米両政府が空対空ミサイル^{※2} AIM-120 (AMRAAM[®]) の共同生産における日本の参画範囲を協議した結果を受け、共同生産への当社の参画を目指し、RTX Corporation (アールティーエックス コーポレーション、本社：米国バージニア州アーリントン) の事業部であるレイセオンと共同生産体制の構築に向けた具体的な協議を進めます。作業範囲としては、電子回路基板 (CCA : Circuit Card Assembly) の製造のほか、将来的に最終組立・検査 (FACO : Final Assembly and Check Out) への参画を目指します。

AIM-120 は米国製の空対空ミサイルで、日米防衛産業基盤の強化を目的に両国間で共同生産の実現に向けた調整が進められてきました。当社は、2024年に「AIM-120の国産化に関する検討役務」、2025年に「AIM-120の国内生産基盤構築に関する検討役務」を防衛省から受注し、本共同生産の実現に向けた検討に取り組んできました。引き続き、防衛省向けの空対空ミサイルの開発・製造を通じて培った技術力やノウハウを活かし、関連企業と連携することで、日米共同生産の早期実現に向けて取り組みます。

今後も当社は、技術による抑止力向上を通じて、安心・安全な社会の実現に貢献していきます。

商標関連

AMRAAM

レイセオン カンパニーの商標

※1 Defense Industrial Cooperation, Acquisition and Sustainment の略

※2 戦闘機などの航空機に搭載され、脅威となる飛行物体を迎撃するミサイル

三菱電機グループについて

三菱電機グループは、「**Our Philosophy**」のもと、サステナビリティを経営の根幹に据え、社会・顧客・株主・従業員をはじめとしたステークホルダーからの信頼を重んじてまいります。また、「収益性」「資本効率」「成長性」を追求するとともに、顧客と繋がり続けて社会課題を解決する新たな価値を創出し、企業価値の持続的向上を図ります。1921年の創業以来、100年を超える歴史を有し、社会システム、エネルギーシステム、防衛・宇宙システム、FAシステム、自動車機器、ビルシステム、空調・家電、デジタルイノベーション、半導体・デバイスといった事業を展開しています。世界に200以上のグループ会社と約15万人の従業員を擁し、2024年度の連結売上高は5兆5,217億円でした。詳細は、[オフィシャルウェブサイト](#)をご覧ください。

お問い合わせ先

<報道関係からのお問い合わせ先>

三菱電機株式会社 広報部

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号

TEL 03-3218-2332

<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/contact.html>

<お客様からのお問い合わせ先>

三菱電機株式会社 防衛・宇宙システム事業本部 防衛システム事業部

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号

E-mail : Defense-systems-div.support@ny.MitsubishiElectric.co.jp